

## 資料紹介

大正十五年

昭和元年

## 教育雑件〔その八〕

浦幌村役場

三浦直春・大和田努 解説

本報は、浦幌町立博物館所蔵の「大正十五年 昭和元年 教育雑件」(浦幌村役場) 簿冊に綴られた各文書を翻刻したものである(図1)。各文書の内容については、冒頭に目録が綴られており、紀要第16号(2016年発行)に掲載してある。本号には目録の文書番号三七から四六までを掲載した。

各文書については、紀要に文書毎に分割して掲載している。なお、掲載の順序は、原則として「教育雑件」に綴られている順序とする。

翻刻は、浦幌町立博物館ボランティアの三浦直春が担当してきたが、三浦が2018年に逝去したため、帯広百年記念館学芸員の大和田努が引き継いだ。



図1 大正十五年 昭和元年 教育雑件(浦幌村役場)

※原資料は浦幌町立博物館で収蔵していますが、資料の劣化防止などのため、展示公開はしていません。調査・研究上の理由で必要な場合には、所定の手続きにより閲覧する事が可能です。原資料の閲覧が必要な場合は、博物館までお問合せ下さい。

〔浦幌町立博物館学芸員〕

本年度翻刻を実施した史料に付される番号および件名は左記の通りである。  
文書番号の区切りになる箇所は棒線、同じ文書番号内で到来した文書を綴るなど作成者・発  
信者の区別ができる箇所は波線で示した。

三七	徴兵署視察二千スル件
三八	庖瘡豫防二千スル注意ノ件
三九	學事工程報告
四〇	歴畧略説配布ノ件
四一	旧土人就学兒童調二千スル件
四二	実業補習学校専任教員補助ノ件
四三	教員辞令二千スル件
四四	実業補習学校調査ノ件
四五	教員辞令二千スル件
四六	職員居所通知ノ件

枠は朱欄外

第 三 七 號

案後閱

教第三二六號

大正十五年四月七日

完 結 票

各町村長 殿

印

受付印有印

印

河西支廳長 那須 正夫

「村長」  
後閱

徴兵署視察二関スル件

本年度徴兵検査ハ来ル四月二十四日ヨリ開始セラレ候処之カ状  
況視察セシムルハ直接兒童教育並ニ青年指導上裨益鮮少ナラサ  
ル義ト被存候ニ付経費ノ許ス範圍内ニ於テ貴部内小學校長ヲシ  
テ自己町村壯丁検査日ニ出張視察セシメ度候条可然御取計相成  
候様致度此段及通牒候也

追テ視察ノ為出張スル者ニ対シテハ出張命令省略本通牒ヲ以  
テ命令ト看做シ処理相成度尙出張セシムヘキ職氏名ハ本月  
二十日迄ニ報告相成度申添候

完結票

村長	印
首席	印
主任	印
施行	印
完結	印

枠は朱欄外

第 三 八 號

大正十五年 四月 七日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決  
〔大正十五年四月 八日〕淨書校合

村長 印 村首席 印 合議 主任 發議者 印

番號 七六四 號 發信者 浦幌村長

宛名 各小學校長 宛  
件名 痘瘡豫防ニ関スル注意ノ件

完<sup>(欄外)</sup> 今般東京神奈川外十三府縣ニ於テ痘瘡患者發生シ漸次蔓延ノ兆有之  
結 候ニ付テハ此際學候傳染病豫防規程ニ基キ該病ノ豫防上遺憾ナキヲ  
票 期セラレ度其ノ筋ヨリ注意ノ次第モ有之右及移牒候也

追而萬一職員兒童中ニ患者發生ノ場合ハ直ニ御報告相成度尚本年  
定期種痘ハ来ル五月初旬ヨリ施行ノ見込ニ付申添

完結票

村長 印  
首席 印  
主任 印  
施行 印  
完結 印

教第二〇七號 印

大正十五年三月十三日

河西支廳長 印

那須 正夫 印

「受付印有」<sup>(兼スタンプ)</sup>

各町村長 殿

痘瘡豫防ニ関スル注意ノ件

今般東京神奈川外十三府縣ニ痘瘡患者發生シ漸次蔓延ノ兆有之ニ  
就テハ此際貴部内學校教員及學校医ヲシテ學校傳染病予防規程ニ  
基キ該病豫防上遺憾ナキヲ期セシメラレ度

追テ万一職員生徒兒童中ニ患者發生ノ場合ハ遲滞ナク後報告相  
成度

梓は朱欄外

第<sup>朱</sup>三九<sup>黒</sup>號<sup>朱</sup>

學事功程報告

一、管内學事ノ狀況

1 方針 忠考 印

教育勅語ニ基キ之レカ實踐活用ニ努ム

2 教授 修身科

教育勅語及戊申詔書並ニ國民精神作興ニ關スル詔書ノ御  
旨意ニ基キ教科書ニアル忠孝實踐者及現社會ノ事實ヲ挙ケ  
教授ノ材料トナス

3 國語科

日常生活ニ必要ナル文字文章ヲ會得セシムルヲ第一着トシ  
自己ノ思想ヲ正確ニ表示シ智能ヲ養ヒ知徳ヲ啓発セシムル  
ニアレバ讀方書方綴方話シ方ニ注意シ以テ児童ニ練習セシ  
ム

4 書方 習字ノ手本ニ因リ周密ナル觀察ヲナサシメ筆法ヲ會  
得セシム四年生以上ノ児童ニハ古葉書ヲ利用シ細字ノ練習  
ヲ兼ネ普通日用文ヲ作製セシメ添削標語ヲ附シ實際活用ノ  
練習ヲナス

5 綴方 讀方其他ノ教科目ヨリ或ハ児童ノ経路ヨリノ事項ヲ記  
述セシメ又ハ教科書中ノ生活ニ必要ナル事項ヲ書取ラシム

6 算術科 暗算ニ重キヲ置キ数学ノ練習ヲ怠ラズシテ運算敏  
速精確ヲ計リ兼テ思考ヲ精確ナラシムル事ニ努ム問題ハ土  
地ノ情况ヲ斟酌シテ適切ナルモノヲ選ブコトニ注意ヲ拂フ  
四年生以上ニ毎週一時間ノ珠算ヲ課ス

一、一週ニ二回ノ復習ヲ課シ達讀ナラシム其ノ方法トシテハ始業  
前中食後或ハ居残りノ時間ヲ利用ス

二、教育勅語及詔書ノ始業前三學年以上ノ児童ニ奉讀セシメ御旨  
意ノ徹底ヲ期ス

三、教授案ハ週案ヲ以テ日々ノ教案トナシ實施シツ、アリ

四、劣等児童ニ対シテハ時間ノ許ス限り個別教授ヲナシツ、アリ

五、成績考査ハ日々ノ實習結果尋常ヲ區別シ嚴重ニ甲乙丙丁ノ調  
査ヲナス

六、家庭ニ於テノ復習ハ父兄訪問毎ニ注意スレドモ成績甚ダ不良  
ナク然レドモ間斷ナク奨励シツ、アリ

## 訓練

イ 児童ニ対シ平素敬神ノ念ヲ興サシメ毎月一回児童引率シテ  
神社佛閣ニ参拝シテ礼儀ヲ守ラシム

ロ 当場ノ児童ハ通學道路ハ山谷ナルカ為メ父兄ト連絡ヲトリ  
児童ノ危険ヲ看護シツ、アリ

ハ 部落民ノ吉凶慰問ハ必ス洩ス事ナク實行シ父兄ト親密ヲ謀  
リツ、アリ

ニ 級長ニ週番ヲ命シ児童ノ品行ヲ向上セシム  
ホ 家庭ト連絡ヲ取ルカ為メ屢ニ家庭訪問シテ現社會ノ不良少  
年ハ無教育ノ為メ社會ニ害ヲ與ヘツ、アル事實ヲ挙ケ教育  
ハ人生ニ必要ナル事例ヲ論シ父兄集會毎ニ児童教育上ノ注  
意ヲ與ヘツ、アリ

養護ノ救急治療トシテ應急手当ニ要スル藥品ヲ備ヘ置ク

3 体操ハ身心ヲ鍛鍊シ体育上最モ必要ナルモノニシテ小ハ一  
身ヲ壯健ニシ大ハ國家ノ守護者トシテ元氣旺盛ナラシムル  
為メ練習ニ重キヲ置キ殊ニ規律的訓練ニ注意ヲ拂フ

4 校舍内外ハ可成清潔ヲ保タシムルモ遺憾ナルハ校ノ敷地ハ  
谷地多クシテ校舍ノ四圍ニ大ナル排水工事ヲ施サ、レハ完  
全ナル校舍敷地トナス事不可能ナリ

5 児童奨励ノ為メ毎週書方成績物ニ優等ナルモノヲ校内ニ掲  
示シ益々奨励ノ實ヲ挙ゲ其ノ賞品トシテ學用品ヲ與ヘツ、  
アリ

6 体育上ノ養護トシテ一般ノ衛生ハ勿論早起食料ノ程度通風  
光線等之利害ヲ挙ゲ例話ヲ為シツ、アリ

管理 當場ノ位置ハ通路ヨリ百五十四間離レタル山麓ニアルカ為  
メ自カラ火ヲ失ハサレハ他ヨリ延焼ノ憂ナシ然レトモ若シ  
一朝猛烈ナル山火起レハ三方皆ナ山又山ナル為メ甚タ危嶮  
ノ位置ニアリ平素部落民ニ充分ノ注意ヲナシ大火災ノ予防  
ニ努ム

學校衛生

學校ノ清潔ヲ保ツ為メ春秋二回ノ掃除ノ外日々当番児童ニ掃除  
ヲ命シ且毎土曜日ニ大掃除ヲナス

學校園

學校園ト称スル程度ニ至ラサレトモ数十坪ノ土地ニ菊及西洋草  
花ヲ植ヘ校庭ノ風景ヲ増シ児童ヲシテ放課時間ニ手入ヲナサシ  
ム

記念碑

本年六月十六日ハ開校五周年ニ相当スルカ為メ記念碑ヲ建セツ  
但シ管内住民ノ寄付行為ニ依ラス小職ノ獨力ニテ建設セリ

一、學事關係職員學事視察

留真尋常小學校長花見八百三氏三回視察ノ為メ来場セリ  
受持教員は月ニ一回又ハ二回必ス父兄ヲ訪問シ家庭ニ於テ児  
童復習ノ件其他重要ナル希望ヲ述ヘ一方世話係ヲ出張セシメ  
児童ノ出席督勵ヲナシ父兄ニ対シテ農業多忙ノ時モ児童ヲシ  
テ欠席セシメサル事ヲ注意ス

學事奨勵

父兄ニ対シ屢々集会ヲ求メ義務教育ノ趣意ヲ忘ルヘカラサル  
モノナル事ヲ講話シ學校ト家庭トノ接近ヲ謀リツ、アリ  
以上

右報告ニ及候也

大正十五年 月 日

十勝郡浦幌村

留真尋常小學校所屬

瀬多來特別教授場代用教員

古林 繁越

印

完結票

村長	①
首席	①
主任	①
施行	濟
完結	結

枠は朱欄外

第 四 〇 號

大正15年 4月14日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決 (案スタンプ) 「大正拾五年四月拾四日」浄書校合印

教第二七六號

印

受付印有

印

村長 印 首席 印 合議 主任 發議者 印

大正十五年四月十三日

完(欄外) 番號 一、一九九 號 發信者 浦幌村長

〔浦幌村長 殿〕 (加筆)

河西支廳長 那須 正夫

票 宛 名 浦幌 上浦幌尋常高等小學校長 宛

印刷物送付ニ関スル件

件 名 歴晷略説配付ノ件

工學博士石橋絢彦氏著作ニ係ル留歴晷略説北海道廳ヨリ寄贈相受ケ候ニ付一部及送付候条御査収相成度

今般北海道廳土木部ヨリ別冊送付ヲ受ケ候ニ付貴部内尋常高等小學校ニ対シ左記部数送付候條各校一冊宛配本相成地理参考資料トシテ有効ニ使用セシメラレ度

追而本書ハ地理参考資料トシテ有効ニ使用セラル、様致度其ノ筋ヨリ来意ノ次第モ有之候ニ付申添候

追テ当廳ニ餘部無之ニ付不足モ場合ハ貴職ニ於テ適宜配付相成度申添候

完結票

左

歴 晷〔マヽ〕 略 説 〔2〕部 (加筆)

村長 印 首席 印 主任 印 施行 済 完 結

第 四 一 號 (朱 黒 朱)

枠は朱欄外

大正15年 4月15日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決 「大正拾五年四月拾五日」浄書校合印

村長 印 首席 印 合議 主任 發議者 印

印

完<sup>(欄外)</sup> 番號 一、二一九 號 發信者 浦幌村長  
 結 宛名 河西支廳長殿  
 票

件名 旧土人就学兒童調ニ關スル件

大正元年八月二十二日付教第九九五號ヲ以テ御通牒相成候首標ノ件該  
 當事項無之候

完結票

完	施	主	首	村
結	行	任	席	長
	濟	①	①	①

枠は朱欄外

第<sup>朱</sup> 四<sup>黒</sup> 一<sup>朱</sup> 號

請求書

決<sup>(欄外)</sup> 一金參百參拾六円也  
 裁 但シ大正十五年三月三十一日内教第一二二八號ヲ以テ御指令ニ  
 印

完<sup>(欄外)</sup> 係ル大正十四年度本村立農業補習學校専任教員俸給ニ対スル補  
 結 助金  
 票 右及請求候也

大正十五年四月十五日

北海道廳長官 中川 健藏 殿

〔加筆〕  
 「大正十五年六月十一日収入済」

決裁印

任	主	議	合	席	首	長	村
					①	①	①

完結票

完	施	主	首	村
結	行	任	席	長
	濟	①	①	①

指令書謄本

内教第一、一二八號指令

十勝郡浦幌村  
 浦幌農業補習學校設立者

浦 幌 村

大正十四年度其ノ村立補習學校專任教員俸給ニ對シ金參百參拾六  
円補助ス但シ左ノ通心得ヘシ

大正十五年三月三十一日

北海道廳長官 中川 健藏

手書き  
印

記

一、大正十四年度ニ於ケル事業ノ状況ヲ大正十五年六月三十日限  
リ報告スヘシ

前項ノ事業報告ニハ教授ノ時間、授業日数、生徒数、出席歩  
合及職員ノ資格職氏名、就職年月日、俸給額、専任兼任ノ別  
等ヲ明カナラシムヘシ

二、大正十四年度収支決算決定ノ上ハ直ニ之ヲ報告スヘシ収支決  
算書ハ豫算額ト対照記載シ且其ノ増減ニ就キ説明ヲ附スヘシ

右原本ニ依リ謄写ス

大正十五年四月十五日

十勝郡浦幌村長 石原 重方

教第三三〇號 (印)

大正十五年四月十日

(印)

〔受付印有〕 (印)

〔浦幌村長 殿〕 (加筆)

河西支廳長 那須 正夫

實業補習學校經費補助ノ件通牒

貴部内左記実業補習學校專任教員俸給ニ對シ別紙ノ通補助指令  
相成候條指令書謄本ヲ添ヘ長官宛請求書正副式通本月十七日迄  
当廳へ御提出相成度及通牒候也

(印)

内教一、一二八號 指令

〔十勝郡浦幌村〕 (加筆)

〔浦幌農業補習〕學校設立者 (加筆)

〔浦幌村〕 (加筆)

大正十四年度其ノ「村立」補習學校專任教員俸給ニ對シ金「參百參  
拾六」圓補助ス但シ左ノ通心得ヘシ

大正十五年三月三十一日

北海道廳長官 中川 健藏

北海道  
廳長官  
之印



記

一、大正十四年度ニ於ケル事業ノ状況ヲ大正十五年六月三十日限り報告スヘシ  
 前項ノ事業報告ハ教授ノ時間、授業日数、生徒数、出席歩合及教員ノ資格、職氏名、就職年月日、俸給額、専任兼任ノ別等ヲ明カナラシムヘシ  
 二、大正十四年度収支決算決定ノ上ハ直ニ之ヲ報告スヘシ収支決算書ハ豫算額ト对照記載シ其ノ増減ニ就キ説明ヲ付スヘシ

大正十五年 三月二四日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決 (紫スタンプ) 〔大正拾五年參月廿四日〕 淨書校合

村長 ① 首席 ① 合議 主任 發議者 ①

番號 九〇〇 號 發信者 浦幌村長

宛名 河西支廳長 宛

件名 大正十四年度実業補習学校補助申請ノ件

客年五月四日浦第一一五九號ヲ以テ大正十四年度実業補習学校補助申請書提出致置候處右ハ補助セラレザルモノニ候哉至急何分ノ御回報相成度一応及御照会候也

(紫スタンプ) 〔大正拾五年參月廿四日〕

大正14年 5月 4日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決 大正 年 月 日淨書 校合

村長 ① 首席 ① 合議 主任 發議者 ①

番號 一一五九 號 發信者 村長

宛名 河西支廳長

件名 大正十四年度実業補習学校補助申請二千スル件  
 実業補習学校補助規〔定〕<sup>(削除)</sup>〔程〕<sup>(加筆)</sup>ニ依リ本件申請候条可然御取計相成度候

教育補助費許可申請

一金三百五十五円

右実業補習学校補助規〔定〕<sup>(削除)</sup>〔程〕<sup>(加筆)</sup>ニ依リ大正十四年度ニ於テ地方費補助御許可相成度別紙収支計算書添付此段及申請候也

大正十四年五月四日

浦幌村長

北海道廳長官 殿

浦幌村大正十四年度一般会計歳入歳出豫算表抄本

歳入		歳出	
科 目	豫 算 額	科 目	豫 算 額
第五款地方費補助	六八三	第四款教育ヒ	三六、九一四
第二項全 上	五九三	第六項実業補習学校	一、八〇〇
	半額金一九八円	一日俸給	八四〇
	特別教育規定ニ依ル尋常小学校	二目手当	二二五
	教員俸給補助金四〇円	三目慰勞金	七〇
	実業補習学校俸給及手当一、		
	〇六五円ニ対スル三分ノ一補助		
	金金三五五円		
四目備品費	一四〇	附 記	
	五円		
	一校ニ付 教科書及参考書代金		
	洋燈一組一円五十銭 ツ、二組		
	代金三円		
	其他備品ヒ二円		
	計金十円 十四校分此金百四十		
	円		
三目消耗品費	五二五		
	一校ニ付		
	薪小切共一敷六円ツ、四敷分此		
	金二十四円		
	石油一罐四円五十銭		
	其他雜品代二円 計三十五円		
	十五校分此金五百二十五円		

〔欄外朱筆〕  
「特急」

教第九一四號 ⑨

大正十四年四月二十一日

〔紫スタンプ〕  
「受付印有」

⑨

各町 村 長 殿

實業學校及實業補習學校補助ニ関スル件

河西 支 廳 長 那須 正夫

明治四十年五月廳令第六十三號實業學校補助ニ関スル規程及大正十一年十二月廳令第一九七號實業補習校補助規程ニ依リ大正十四年度ニ於テ補助ヲ受ケムトスル向ニシテ申請未済ノモノ有之候ハ、此際至急申請相成度

追而申請期限經過後ニ付或ハ補助セラレザルコトアルヤモ圖リ難キニ付豫メ後了知相成度申添ヘ候

枠は未欄外

第<sup>朱</sup>四<sup>黒</sup>三<sup>朱</sup>號

浦発第八号

㊦

大正十五年四月二十日

㊦

浦幌尋常高等小學校長 成田 惣八浪

北海道十勝郡公立浦幌尋常高等小學校長之印

浦幌村長 石原 重方 殿

教員辞令二千スル件

完<sup>(欄外)</sup>結 票

今回新任ノ當校訓導府録幸平ノ任命辞令別紙寫ノ通りニ候間此段報告候也

完結票

村長 ㊦  
首席 ㊦  
主任 ㊦  
施行 濟  
完結

府録 幸平

北海道十勝郡浦幌尋常高等

小學校訓導ニ任ス

但本科正教員勤務

七級下俸給與

大正十五年三月二十三日

注 日付文字の上に正方形（印影を示すためのもの）有

枠は未欄外

第 四 號  
朱 四 號  
朱

大正十五年 二月二十日發議 大正 〃年 〃月 〃日議決 (兼スタンプ)  
「大正十五年參月 廿日」淨書印校合印

村長 ① 首席 合議 主任 發議者 ①

番號 一、二四五 號 發信者 浦幌村長

宛 名 河西支廳長 宛  
票 結 完 (欄外)  
件 名 度実業補習學校ニ関スル調査ノ件

大正十年三月教第一七二八號御通牒ニ依ル標記ノ件別紙ノ通り及  
報告候也

完結票

村長 ①  
首席 ①  
主任 ①  
施行 濟  
完 結

第一號大正十五年度公立實業補習學校經費豫算調 (四月二十日調)

計	商 船	商 業	水 産	農業 (女子ヲ容スルモノ)	農業 (男子ヲ收容スルモノ)	工業 (女子ヲ收容スルモノ)	工業 (男子ヲ收容スルモノ)	經 常 費								
								專任教員給	兼任教員給	計	其 他	合 計	臨時費	通 計		
九〇〇	、	、	、	、	九〇〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
二二〇	、	、	、	、	二二〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一、一一〇	、	、	、	、	一、一一〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
六七〇	、	、	、	、	六七〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一、七八〇	、	、	、	、	一、七八〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
一、七八〇	、	、	、	、	一、七八〇	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、

計 合				計 立 私			計 立 村 町			計 立 市			計 立 縣 府 道			
計	男女ヲ収容スルモノ	女子ヲ収容スルモノ	男子ヲ収容スルモノ	計	男女ヲ収容スルモノ	女子ヲ収容スルモノ	男子ヲ収容スルモノ	計	男女ヲ収容スルモノ	女子ヲ収容スルモノ	男子ヲ収容スルモノ	計	男女ヲ収容スルモノ	女子ヲ収容スルモノ	男子ヲ収容スルモノ	
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	工業
一四	\	\	一四	\	\	\	\	一四	\	\	\	\	\	\	\	農業
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	商業
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	工業商業
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	商業農業
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	商船
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	水産
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	其他
\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	\	
\	\	\	一四	\	\	\	\	一四	\	\	\	\	\	\	\	計

第二號 實業補習學校教員數調 (四月二十日現在)

計	商 業	商 船	水 産	農業 (女子ヲ収容スルモノ)	農業 (男子ヲ収容スルモノ)	工業 (女子ヲ収容スルモノ)	工業 (男子ヲ収容スルモノ)			専 任 教 員 數
								校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	\	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	兼 任 教 員 數
一	\	\	\	\	一	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	\	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	\	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	兼 任 教 員 數
一	\	\	\	\	一	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	\	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	\	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	兼 任 教 員 數
\	\	\	\	\	一四	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	
\	\	\	\	\	一五	\	\	校長訓導	以上ノ學 以下ノ學	合 計

第三號 公立實業補習學校教員數調 (四月二十日現在)

教第三六二號 ⑩

大正十五年四月十六日

⑩

〔受付印有〕

⑩

〔浦幌（加筆）村長 殿〕

河西支廳長 那須 正夫

實業補習學校ニ関スル調査ノ件

大正十年三月教第一七二八號通牒ニヨリ本月二十二日迄ニ提出相成ルヘキ標記ノ件期日ヲ違ヘサル様御提出相成及通牒候也

追テ調査表欄中当該欄無之場合ハ一ノ印ヲ附シ各欄整備御提出相成度尚旧規程ニ依ル実業補習學校ニシテ未タ廢止ナラサル限リハ調査報告ヲ要スヘキニ付為念申添候

枠は朱欄外

第 四 五 號

完 結 票

浦発第十號

大正十五年四月二十四日

⑩

〔受付印有〕

⑩

浦幌尋常高等小學校長 成田 惣八郎

浦幌村長 石原 重方 殿

教員辞令ニ関スル件

北海道十勝郡公立浦幌尋常高等小學校長之印

今回新任ノ當校訓導福井義松ノ任命辞令別紙寫ノ通りニ候間此段及報告候也

完結票

完	施	主	首	村
結	行	任	席	長
	濟	⑩	⑩	⑩

北海道十勝郡浦幌農業補習學校助教諭

福井 義松

兼北海道十勝郡浦幌尋常高等小學校訓導二任ス

但專科正教員勤務

大正十五年四月十五日

福井 義松

北海道十勝郡浦幌農業補習學校助教諭二任ス

七級俸給與

大正十五年四月十五日

〔翻刻者注 日付文字の上に印影を示す正方形有〕

〔翻刻者注 日付文字の上に印影を示す正方形有〕

枠は朱欄外

第<sup>朱</sup>四<sup>黒</sup>六<sup>朱</sup>號

第一二号<sup>印</sup>

大正十五年四月三十日

浦幌尋常高等小學校長

成田 惣八郎

北海道十勝郡公立浦幌尋常高等小學校長之印

〔紫スタンプ〕  
「受付印有」<sup>印</sup>

票 結 完<sup>欄外</sup>

浦幌村長 石原 重方 殿

職員居所通知ノ件

新任福井義松事當校宿直室ニ居住致シ候ニ付此段及御届候也

以上

完結票

村長<sup>印</sup> 首席<sup>印</sup> 主任<sup>印</sup> 施行 完結